

確かな未来へ 夢はぐくむまち 南陽

第5次南陽市総合計画

2011-2020

概要版

山形県南陽市



南陽市のまちづくりの体系

基本理念

市民憲章

- 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくります
- 心とからだをきたえ、明るいまちをつくります
- きまりをまもり、たすけあって楽しいまちをつくります
- 働くことに誇りをもって豊かなまちをつくります
- 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります

これからの時代に向けた課題

- 人口の減少化をくい止め、活力ある地域の形成
- 地域資源の活用など新たな産業化による安定した雇用機会の創出
- 海外市場や多様な分野に向けた生産性の高い産業を切り開く特色ある人づくり
- 将来をたくせる後継者の育成
- 子育て・介護・環境など多面的な行政サービスが整った健康で豊かな地域社会の形成
- 限られた財政事情のもとで市民と行政の役割分担による地域づくり



基本方向

- 自然環境の保全に配慮したまちづくり
- 人の和による健康で明るい魅力づくり
- 市民が主体となるコミュニティづくり
- 産業の活性化による定住できる地域づくり
- 教養を深め、豊かな文化を育む人づくり

新たな活力ある方向性

交流による活力ある地域づくり



地域資源を活かした新たな収益型産業の展開



コミュニティの再生による地域力の向上



めざす都市像

人口が国全体で減少する時代に、少子高齢化や生産年齢人口の減少による都市経済の低下が懸念されていることから、定住率、出生率及び転入人口の増加を図るため、地域に今ある資源を見直し、時代にあった活力を生み出し、**『確かな未来へ 夢はぐくむまち 南陽』**の創造を行っていきます。

教育のまちづくり

日本一の人づくりで心豊かな明るいまちをめざします



産業のまちづくり

地域の活力を生みだし働きがいのあるまちをめざします



健康のまちづくり

いきいきと多世代が交流する元気なまちをめざします



目標年次 2020年度（平成32年度）

定住促進や子育て支援策の充実など各種施策により減少人口を最小限に留め、人口の減退を抑えて、目標人口を以下のとおり設定します。

目標人口 STEP1：約32,000人

国立社会保障・人口問題研究所推計値（平成32年30,882人）から約1,100人の増加を目指す。

STEP2：後期基本計画策定時に上積み

教育のまちづくり

市民一人ひとりが自発的・主体的に学び、
地域を豊かにする教育日本一のまちづくり



これからの地域づくりには、ライフステージに応じて一人ひとりが幅広い分野で自ら学ぶ意欲を育み、広い視野を持った愛郷心豊かな人づくりを進めることが大切です。知・徳・体を重んじた「徳育」や幼保小中一貫した教育指導、青年教育の推進などにより数多くの優秀な人材を育成し、地域を担い地域を高める教育日本一のまちづくりを進めます。



1) 国際的な視野をもつたくましい人づくり

- 確かな学力と豊かな人間性、健康・体力を養うきめ細かな学校教育
- 地域総合型教育の推進と幼保小中一貫した教育の充実
- 国際化に対応した相互文化の理解と語学教育の重点化及び海外研修等実践力の養成
- 読解力や理数等の応用力の伸長を目指し、創造性に富む人材育成

2) 生涯にわたり人を思いやる徳育の向上

- 社会参画意識を養う啓発的活動の推進
- 児童生徒の年齢、体力に応じて、心と体を鍛える「知・徳・体」教育の実践

3) スポーツ交流の推進

- スポーツ交流を実践するソフト／ハードの環境整備や、赤湯温泉を活用した受け入れ態勢の充実
- 市民一人1スポーツによる健康スポーツの拡大
- 第一線指導者による全国レベルの競技スポーツの育成

4) ふるさと教育の推進

- 生涯学習を通じ地域資源を活かした大都市との交流
- 先人の教えや郷土愛を深める地域文化の継承と発展
- 地産地消を通じ、食文化を深め、市民生活の質を高める食育の推進
- 農業、森づくりなどを通じた地域課題を解決する体験型学習
- 自然、歴史、文化の体験学習を深める人材の育成
- 地域文化の発信や芸術鑑賞の提供等人づくりにつながる施設整備

5) 地域を活性化する実践的なまちづくり

- まちづくり企画塾など若者が活躍できる場の提供
- 若者の国内外先進地視察や大学と連携したまちの活性化
- 温泉を活用したまちづくりの実践による他都市との交流

産業のまちづくり

地域の活力を生み出す豊かな産業づくり



南陽市には、豊かな自然環境やおいしい農産品、そして赤湯温泉などオリジナリティあふれる地域資源がたくさんあります。あるがままの風景や食材、加工品を南陽ブランドとして内外に売出しを図るほか、農・商・飲食・観光のネットワークにより、経済の活性化を促し、後継者の育成や定着を図るなど地域の元気を創出します。



また、中心市街地の整備や温泉めぐりを楽しむまち歩き提案、産直市場の支援等を通じ、まちのにぎわいづくりを進めます。

更に、低炭素社会に合致した企業誘致、技術の導入を支援し、雇用や既存企業受注の下支えを積極的に行います。



1) 地域資源を活かした新たな産業のブランド化

- 自然環境、温泉、ワインなどの地域資源の活用によるオリジナリティあふれる産業、起業化の促進
- 遊休農地や優れた自然景観を活かした新たな魅力づくり
- 周辺都市や学校と連携した農産品、特産品などの加工開発
- 歴史ある既存産業を活かす新たな販路の拡大
- 農・商・工・観光の連携による商品開発と国際的な販路の拡大
- 新たな南陽産品のブランド化による地域PRの拡大

2) 意欲ある後継者の育成と雇用の確保

- 農・商・工業の後継者を育成するプログラムの展開
- 人づくり教育の実践による新たな雇用の創出

3) 観光資源のネットワーク化

- 農・商・飲食・観光のネットワークによる新たな受入態勢の整備
- アジア地域を主とする外国人観光客の誘客及び環境整備

4) 中心市街地の商業活性化

- 地産地消や土産物の販売拠点となる産直市場の形成
- 温泉巡りを楽しむウォーキングコースのあるまちづくり
- 市民が集う中心市街地のにぎわいづくり

5) ものづくりの開発力強化と情報発信

- 先進都市の産業と連携した地元企業の受注及び競争力強化の支援
- 都市間交流によるものづくり情報の相互発信

6) 付加価値の高い産業開発

- 環境意識の高い企業や市内既存企業と連携を図る産業団地の計画推進
- 南陽のオリジナル企業を活かした新たな産業開発

7) 環境にやさしい循環型社会

- 市民と行政が一体となった環境施策による環境意識の高い地域づくり
- 自然環境の保全活動などによる環境教育の推進

健康のまちづくり

いきいきと多世代が交流できる健康づくり



産まれてから年老いるまで、誰もが健やかで生きがいのある生活ができるよう、健康づくりや安定した雇用・住宅などの生活基盤の充実、そして何よりも周囲の人々との助け合いの心を育み、心豊かで安心感のある地域づくりを進めていきます。

また、子育て支援都市宣言メニューの充実や子育て世代の定住・転入を促す戦略的な施策を打ち出し、笑顔あふれるまちづくりを進めます。



1) 明るく元気な子を育む地域づくり

- 地域や企業と連携した結婚・出産・子育て支援サービスの充実化促進
- 定住化を促進する社会基盤の整備や子育てしやすい住宅政策の推進

2) 温泉を活かした健康増進プログラム

- 医療と連携し温泉を活かした健康保養基地
- 地域の特産品を活かした健康栄養食の開発による食育の推進
- 介護、保険、医療を統合した福祉サービスビジネスの構築
- 市民が親しみやすい栄養・運動プログラムの提供

3) 健康体力づくり都市宣言の発展化

- スポーツ施設などと連携した市民の年代に応じた生涯健康スポーツプログラムの開発など健康づくりの促進
- 公民館での健康軽スポーツ活動の支援

4) 地域コミュニティによる健康サポート

- 子どもやお年寄りをサポートする互助精神に基づく地域福祉ネットワークの形成
- 多世代交流イベントや活動機会の拡充
- 登録制度などによるボランティアの育成支援

5) 定住を進める社会基盤の整備

- 自然と利便性が調和した快適な居住環境づくり

6) 安心して生活しやすい環境づくり

- 防災や防犯など地域のつながりによる安全・安心な暮らしの形成

計画を推進するための取り組み



南陽市の個性を発揮した独自性の高いまちづくりとするために、市民に開かれた情報公開や市民にわかりやすい施策の説明を行い、効率的で市民満足度の高い行財政運営を進めます。

1) 効率的な行財政運営

- 政策形成能力の高い行財政
- 行政情報化の推進
- 広域行政による効率化

2) 市民に開かれた市政の推進

- 行政施策の決定プロセスの公開
- 市民参画に向けた広報広聴活動

《まちづくりの指標》

計画の実現に向けて、前期基本計画では、まちづくりの指標を設けて進行管理を行い、計画の実現を図っていきます。定住人口増加指標、行政施策指標のほか、図書貸出数や公民館等利用者数などの教育のまちづくり指標、市内総生産や観光客数などの産業のまちづくり指標、特定健康診査受診率や公衆浴場利用者数などの健康のまちづくり指標を設定しています。

○定住人口増加指標

指標名	現 状	前期目標水準 平成27年度	目標設定の考え方
人 口 ^{*1}	33,664人 (H22速報値)	33,100人	国立社会保障・人口問題研究所推計値(平成27年32,449人)から約650人の増加を目指す。
出 生 数 ^{*2}	273人 (H21年度)	300人／年	年間の出生数300人を目指す。
社会移動増加数 ^{*3}	△72人 (H20年)	0人／年	年間の社会移動数(転入人口－転出人口)の増加を目指す。

^{*1}人口は国勢調査、^{*2}出生数は住民基本台帳、^{*3}社会移動増加数は山形県社会的移動人口調査のデータを基礎数値とする。

○行政施策指標

指標名	現 状	前期目標水準 平成27年度	目標設定の考え方
経 常 収 支 比 率	92.6% (H21年度)	90.0%	効率的な行財政運営により、経常収支比率90.0%以下を目指す。
実質公債費比率	21.0% (H21年度)	17.0%	効率的な行財政運営により、実質公債費比率17.0%以下を目指す。
将 来 負 担 比 率	165.1% (H21年度)	180.0%	効率的な行財政運営により、将来負担比率180.0%以下を目指す。



第5次南陽市総合計画

■発行日 平成23年3月
■発行 山形県南陽市
〒999-2292 南陽市三間通436番地の1
TEL.0238-40-3211
URL:<http://www.city.nanyo.yamagata.jp>